

新時代対応型事業展開支援補助金 事業計画書記載要領

申請者は以下の要領に従って、事業計画書を作成してください。

I 審査事項

事業計画は、以下の審査項目に基づき審査・採点を行い、予算の範囲内で高順位のものから採択します。

【必須事項】

1 補助事業としての適格性

新型コロナウイルス感染症により変容した生活様式に対応した新たな需要を獲得するための事業転換等を行う次のいずれかに該当する取組みであるか。

①新規事業分野への進出

- ・既存事業が属する日本標準産業分類の小分類と、新規事業分野が属する日本標準産業分類の小分類が異なるものになっているか。

②販路獲得のための新規手法の導入

・現在用いている販路獲得のための手法と、新たに導入しようとする販路獲得のための手法の違いは明確か。

③新商品・サービスの開発

- ・現在製造・販売、提供している商品・サービスと、新たに製造・販売、提供しようとする商品・サービスとの違いは明確か。

【採点事項】

1 商品やサービス、販路獲得手法の将来性

①新規事業分野、新たな販路獲得手法又は新商品・サービスが、コロナ禍により変容した市場に適合したものになっているか。

- ・新型コロナウイルス感染症により変容した生活様式に対応した新たな需要の獲得につながるものとなっているか。
- ・ターゲットとして想定している具体的な顧客、マーケット及び市場規模等の分析が適切に行われているか。

②新規事業分野、新たな販路獲得手法又は新商品・サービスが、顧客に対する訴求力を有しているか。

- ・顧客に提供する性能的優位性、価値や価格が、ターゲットとする顧客、マーケット及び市場に対して需要が見込まれるものになっているか。

2 計画の妥当性

①事業実施体制が、事業を適切に遂行できると期待できるものになっているか。

- ・事業実施における責任者や役割は具体的に示されているか。経営層が主体的に関わっているか。
- ・認定経営革新等支援機関等の外部機関から適切なサポートが受けられることが期待できるか。

②事業実施スケジュールは適切か。

- ・適切なマイルストーンが設けられているなど事業実施スケジュールが具体的に示されているか。
- ・補助事業期間内に事業計画を遂行できると期待できるか。

3 費用対効果

①費用対効果の高い収支計画となっているか。

- ・事業に必要な費用に対し、増加が見込まれる売上・利益等の規模は適切なものになっているか。
- ・売上・利益等の増加にかかる積算根拠が具体的に示されているか。

②資金調達計画は適切なものになっているか。

- ・十分な自己資金や金融機関等からの資金調達が見込まれるなど、事業の実施に必要な資金調達が期待できるものになっているか。
- ・事業に必要な費用の額が、財務状況や事業により見込まれる収益に対して、無理のない妥当な金額となっているか。

II 記載項目

事業計画書には、以下に掲げる必要事項を漏れなく記載してください。(記載がない項目がある場合、審査に付すことができない場合があります。)

※記載項目以外の項目について追記することは差し支えありません。

1 計画の概要

(1) 申請者

- ・ 申請者の名称、代表者職氏名、所在地を記載してください。

(2) 計画の名称

- ・ 計画の名称を記載してください。

(3) 計画の概要

- ・ 具体的に何をを行いどういった効果をもたらすか分かるよう、計画の概要を3行程度で記載してください。

2 現在の事業状況

(1) 事業内容

- ・ 現在の主な事業内容を記載してください。なお、当該事業が日本標準産業分類の小分類のどれに該当するかについても記載してください。
- ・ 現在販売・提供している商品・サービスの内容や、ターゲットにしている市場の状況の分析について記載してください。

(2) 過去3年分の売上等の状況

- ・ 現在の事業の過去3年分（直近決算、その1年前及び2年前）の売上等の状況について記載してください。なお、申請時点で過去3年分の記載が出来ない場合は、可能な範囲で結構です。

(3) 販路獲得手段等

- ・ 現在販路獲得のために用いている手法についても併せて記載してください。

(4) コロナ禍以降の課題・商機

- ・ コロナ禍で変容した生活様式や市場により生じている経営上の課題・影響や、プラスの影響等について、どのように分析しているか、具体的に記載してください。

3 新たに取り組む事業の内容

[共通]

- ・ 課題を解決するためにどのようなことをどのような手段で実施するか、具体的に記載してください。
- ・ 目標とする売上規模や商品・サービス等の想定価格等について記載してください。
- ・ 新たに実施しようとする事業がターゲットとして想定している具体的な顧客、マーケット及び市場規模等について記載してください。

[新分野進出]

- ・ 新規事業分野に進出することで、既存の事業とどう差別化し、コロナ禍で変容した生活様式や市場に対応した事業継続・持続的発展につながるようになるのかについて、具体的に記載してください。なお、当該新規事業が日本標準産業分類の小分類のどれに該当するかについても記載してください。

[販路獲得のための新規手法の導入]

- ・ 新規販路開拓手法がどういった性能的優位性や価値を有し、コロナ禍で変容した生活様式や市場に対応した事業継続・持続的発展につながるようになるのかについて、具体的に記載してください。

[新商品・サービスの開発]

- ・ 新商品・サービスがどういった性能的優位性、価値や価格を有し、既存の商品・サービスと差別化が図られるか、コロナ禍で変容した生活様式や市場に対応した事業継続・持続的発展につながるようになるのかについて、具体的に記載してください。

4 実施体制

- ・ 新たに実施しようとする事業の責任者や役割、人材の活用方針（新規雇用や既存事業の縮小による配置換えなど）や外部支援機関との連携等について、具体的に記載してください。

5 スケジュール

- ・ 新たに実施しようとする事業の実施スケジュールについて、計画を管理するうえで重要な節目や区切りを設けつつ、記載してください。（補助事業終了後のスケジュール記載も可）

6 収支計画

- ・ 新たに実施しようとする事業により見込まれる収支予測（販路開拓手段の導入については販路開拓対象事業の収支）について、事業終了後3年から5年の範囲で記載してください。なお、売上・利益等の増加額については、その算出根拠を示してください。

7 資金調達計画

- ・ 新たに実施しようとする事業に必要な資金の調達計画を記載してください。なお、財務状況や事業により見込まれる収益に対して妥当な計画となっている旨を説明してください。

Ⅲ 規格

- ・ 事業計画書の用紙の大きさは、日本産業規格A4としてください。
- ・ 事業計画書は最大15ページ以内で作成してください。
- ・ 様式は指定しません。ワード、パワーポイント等により、必要に応じて図表や写真等を用いていただくなど、分かりやすく作成してください。